

災害対策専門研修「図上訓練コース」開催結果

人と防災未来センターでは、大規模災害時における初動対応の要諦について実戦的に学習し、緊急対応期から応急対応期に向けた様々な課題への対応能力、意思決定能力を養うことを目的とした「図上訓練コース」を下記のとおり開催しました。

記

1 日 時

平成17年2月21日(月)～平成17年2月22日(火)

2 場 所

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
「防災未来館」5階プレゼンテーションルーム

3 受講者の所属

近畿地方・中部地方を中心に北は北海道旭川市から南は鹿児島県まで全国各地から参加があった。

	兵庫県	近畿 (兵庫県除)	北海道	東北	関東	中部	中国・ 四国	九州	総計	団体数
府県		2			2	1	1	3	9	9
市町	5	12	1		1	6	3	1	29	29
総計	5	14	1		3	7	4	4	38	38

4 評価と課題

全国各地から定員を大幅に超える受講希望があり、地方自治体における「図上訓練」への関心の高さがうかがえた。

- ・研修に対する満足度の点数評価(100点満点)の平均点は77.1点であった。
- ・評価レポートの記載内容から判断すると、演習を通して災害時の初動対応についてイメージすることができた受講者にはかなり高い評価を得たが、「自治体防災にかなり精通していないと消化できない」との意見も散在した。
- ・「図上訓練を受けてさらに危機感が高まった」「災害対応のやり方について改めて問題意識を持つことができた」という意見もあった。
- ・演習前には、図上訓練について「あまり理解していない」という声が多かったが、演習後には「かなり理解できた・ある程度理解できた」という声が多くなり、ほとんどを占め、また、図上訓練が大規模地震災害への対応力向上に効果があるという声も数多く見られた。



図上訓練の風景



図上訓練の風景

* コース概要は次ページ

< コース概要 >

人と防災未来センター「災害対策専門研修」特設コース 「図上訓練」コース

1 本コースのねらい

近年、防災関係機関を中心としてロールプレイング方式の図上訓練が注目され、実施する機関も増えており、図上訓練に対する関心も高まっている。ここでいう図上訓練とは、「一定の役割を付与された訓練参加者とグループが、擬似的な災害状況下で、決められた役割に従って災害対応行動を行う実践的な訓練」のことである。従来から実施されているシナリオが決まっているいわゆる「展示型訓練」とは異なり、訓練参加者は自らの行動を自らの判断で決めなければならない、擬似的な災害状況下での意思決定を訓練することが可能となる。

一方、図上訓練を実施するに当たっては、訓練の企画、シナリオ作成など、専門的知識が必要であり、多くの手間と時間がかかることから、積極的に図上訓練を活用している自治体はまだ一部に限られているのが現状である。

本コースでは、図上訓練の初心者を中心に、図上訓練の内容と効果について実際に図上訓練を体験する中で学ぶと同時に、初動対応期における対応の要諦について座学・演習を通して実践的に学習していただく。

2 本コースの特徴

(1) 図上訓練を通して初動対応の要諦を実践的に演習

大規模震災時における初動6時間の対応を、都道府県および市町村のプレーヤとして演習する。災害対策本部活動、被害概要の把握、応援要請、消火・救出、医療救護、避難所運営、緊急輸送路の確保等の緊急対応期から応急対応期に向けた様々な対応課題について学習するとともに、意思決定能力を養う。

(2) 人と防災未来センターが開発した「災害対応演習システム」を活用した図上訓練

人と防災未来センターでは、災害対応を実践的に訓練することが可能な「災害対応演習システム」の開発及び改良を行ってきた。当センターが開発した「災害対応演習システム」は、従来の図上訓練の欠点である、訓練結果の記録、訓練進行管理、訓練結果の評価などを容易にし、各プレーヤはInternet/Intranetを通じた端末を通して参加可能であり、遠隔地での訓練を可能にするものである。災害時におけるグループ間の連携を効果的に演習し、訓練後の評価も適切に行うことが可能となっている。

3 カリキュラム

1日目（2月21日〔月〕）

10:00～10:45

1限：コース全体のオリエンテーション（コース概要説明、図上訓練概論など）

講師：秦康範 地震防災フロンティア研究センター川崎ラボラトリー研究員
（元 人と防災未来センター専任研究員）

10:50～12:20

2限：図上訓練の事例紹介（市、県の取り組み）

講師：片岡清 岡山県総務部消防防災課危機管理対策担当参事
山本勝久 四日市市総務部防災対策課課付主幹

13:30～14:40

3限：震災時における消防本部の初動対応

講師：中地弘幸 神戸市消防局警防部警防課計画係長

14:50～16:10

4限：図上訓練の現状と災害対応演習システムのオリエンテーション・解説

講師：坂本朗一 株式会社防災&情報研究所主幹研究員
内容：DIG や状況創出型訓練（ビジョンの設定等）などの解説
図上訓練のオリエンテーション
「災害対応演習システム」の解説、デモと体験

16:10～17:10

5限：展示施設見学

17:30～19:10

6限：図上訓練のための事前協議

講師：高梨成子 株式会社防災&情報研究所代表
坂本朗一 株式会社防災&情報研究所主幹研究員

2日目（2月22日〔火〕）

9:00～12:00

1限～2限：図上訓練の実施（発災～6時間後）

統制班：高梨成子	株式会社防災&情報研究所代表
坂本朗一	株式会社防災&情報研究所主幹研究員
山本隆俊	兵庫県防災局防災企画課参事(訓練・調整担当)
小坂真司	兵庫県防災局防災企画課防災訓練係長
山本龍太郎	兵庫県防災局防災企画課防災訓練係
松尾富貴	兵庫県防災局防災企画課防災第1係主査
中地弘幸	神戸市消防局警防部警防課計画係長
秦康範	地震防災フロンティア研究センター川崎ラボ ラトリー研究員(元 人と防災未来センター専任研究員)
永松伸吾	人と防災未来センター専任研究員
平山修久	人と防災未来センター専任研究員

13:30 ~ 17:00

3限 ~ 4限：図上訓練結果の評価及びディスカッション

講師：図上訓練の統制班